

“清水港をもっと利用して！” 首都圏「清水港セミナー」開催

11月22日、帝国ホテル東京において「清水港セミナー」を開催しました。これは、首都圏の荷主へ清水港利用を呼びかけるため、県と静岡市、清水港利用促進協会で作る「清水港ポートセールス実行委員会」が毎年東京都内で開催しているもの。今回は、前年を大きく上回る約630人もの参加がありました。

始めに、石川嘉延知事から「静岡県の産業やそれを支える人口増は今後の潜在力。海上物流を担う清水港の役割はますます大きくなる。」と挨拶。清水港管理局からは、清水港の利便性や入港料減免措置、今後の新興埠頭の整備計画等について説明しました。

その後、伊藤元重・東京大学大学院教授が「世界経済 今の動き」と題して、講演を行いました。



石川嘉延知事



伊藤元重 教授



会場の様子

山梨県でも「清水港 PR」

この秋、山梨で開催された「山梨むらおこし物産展」と「山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ」において、清水港の利用促進や魅力を PR するため、管理局ブースを出展しました。

【山梨むらおこし物産展】10/20~21

「ふるさと特産品フェア」の一環として、むらおこし事業で開発された特産品を中心に、地域ごと特色のある産品を一堂に集めた物産展。開催日、会場の小瀬スポーツ公園は晴天に恵まれ、多くの人で賑わいました。

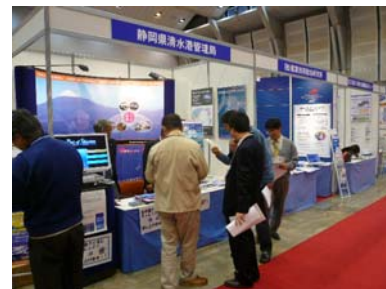
【山梨テクノフェア&マルチメディアエキスポ】11/15~17

山梨県内におけるメカトロニクスやエレクトロニクスなど、ものづくりの高度な技術を有する企業と、IT を駆使して情報化を支援する企業が参加する山梨県内産業界のビックイベント。

管理局ブースでは、清水港パンフや客船情報チラシなどの配布とともに、清水港クイズを実施。山梨の人にもっと清水港を知ってもらい、今後もっと利用し、または足を運んでもらうため、「清水港 PR」をしてきました。



むらおこし物産展



山梨テクノフェア

海に隣接しない山梨では、海に向かって遊びに行く人が、けっこういるみたい。清水港ブースにも興味津々だったよ。



ニュージーランドから太平洋を渡って清水港へ

「メリディアン パッセージ」日本列島縦断の途中清水港へ

11月5日（月）清水港にやってきた“セイルヨット”「メリディアン・パッセージ」。
どこから？どんな人が？なぜ清水へ？ さっそく船へ取材に行ってきました！

船の主は、ニュージーランドから来たというマクドナルド夫妻。

驚いたのはこの船、ニュージーランドを出たのが8年前。それから日本列島をぐるっと一周する旅をしていると言うのです！日本の寄港地を記した地図を見ると、日本列島を網羅するように各地を巡っているのが分かります。

乗っていたのはとってもフレンドリーなご夫妻で、笑顔で船内に招き入れてくれました。

私が訪船したとき、すでに船内には来客がいました。3年前マレーシアで出会って、以後仲良くしているというご夫妻でした。昨年は自宅に招き一緒に富士登山へ行ったのだそう。今日もこれからご夫妻の家に宿泊の予定、とお互い嬉しそうに話してくれました。



中央2人がマクドナルド夫妻 →
その両横が友人夫妻

疑問！質問！

買い物はどうしていますか？

食料品などは現地調達。野菜類は見てすぐ分かるけど、それ以外は日本語が分からないから一苦労。私は、欲しい食材や気に入ったものを携帯カメラに撮っておいて、それを見て買い物をしています。その他、船に必要な機材や道具は自国でそろえています。

日本のどの港を周ってきたのですか？これからどこへ行くのですか？

日本に入ったのは石垣島から。今回は、福岡を4月に経ってから、日本海側を北上して、北海道をぐるっと一周。その後太平洋側へ回って南へ向かい、今清水港にいます。このあと冬の期間を使って、瀬戸内海を通過して福岡へ向かいます。福岡まで行ったらまた瀬戸内海を横切って銚子に向かい、今度はアラスカへ行くつもりです。

日本の港をかなりたくさん巡っていますが、日本人の印象はいかがですか？

『日本人は大好き。特に地方港を巡ると、その土地の人と触れ合うことができ、それが船旅の楽しみになっています。日本人はフレンドリーで温かくて、よく笑ってよく飲む、という印象です。よく「日本人」は「おとなしくて礼儀正しい」なんて言うけど、本当に仲良くなると全然違うと感じます。』

■ご主人は1984年に初めて日本を訪問。東京・京都・広島を巡るツアーに参加したときの印象は、「ゴミゴミしていて人々が忙しそうなお都会」というもの。「もう二度と日本には行きたくない」と思ったそう。

■ところがヨットで日本各地を回ってみて、地元の人々や文化に触れ、「日本人好き」になってしまったのだと言います。

『私たちは「REAL JAPANESE」を知っているからラッキーだよ。一般の旅行者じゃ、そこまで知ることはできないからね。』

『日本人は私たち（ニュージーランド人）ととても似ていると思います。楽しみ方や感覚、笑い方、話し方、フィーリングが似ていると感じます。』

セイルを始めたきっかけは？

『もともと旅行が大好きで、でも嫌なのは、毎日違うホテルに泊まったり、そのために重いスーツケースを運んだりすることでした。ヨットなら常に自分たちの帰る家があって旅をしているようなものだし、世界中どこでも行きたいところへ行けます。』

★世界を船旅するご夫妻。一番の楽しみはやはり「地元の人や文化との触れ合い」なのだそう。「REAL」な人との触れ合いは、こんな小さなセイルヨットならではの醍醐味なのかもしれませんね★



皆様からのご意見やお問い合わせはこちらまで

424-0922 静岡県静岡市清水区日の出町9-25 静岡県清水港管理局 企画振興課
TEL054-353-2203 FAX 054-354-0380 e-mail port@mail.wbs.ne.jp



New Public Engineering for SHIZUOKA

いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県建設部